

## 6 - 2 九州中部地方の上下変動

### Vertical Movement in the Central Part of Kyushu

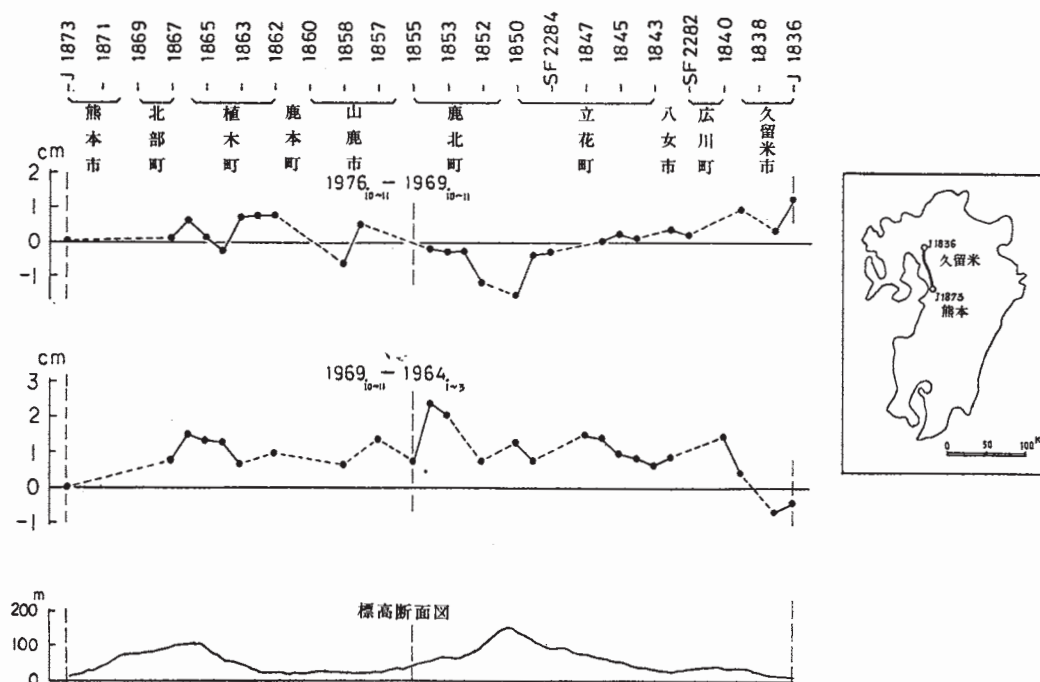
国土地理院測地部  
Geodetic Division, Geographical Survey Institute

九州地方第4回一等水準測量の一環として1976年に九州中部地方の測量を終了したのでその結果について報告する。

第1図は熊本～久留米間の一等水準点の変動を示すものであるが、変動はほとんど見られない。

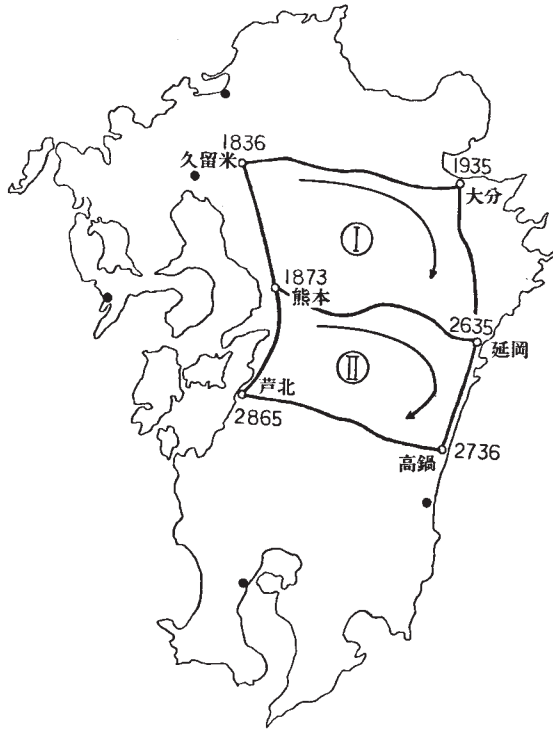
第2図は久留米～大分間の一等水準点の変動を示している。上段の変動グラフ中一等水準点No.2568附近にやや顕著な隆起が見られるが、1975年4月大分県西部九重山附近にM=6.4の地震が起きておりこの影響と考えられる。同図右下の変動グラフはこの地震直後の一等水準測量成果によるものである。

第3図は大分～延岡間、および熊本～延岡間の変動グラフである。この地区の変動については、1968年4月の日向灘地震（M=7.5）の影響で地震後に大きく沈下し、次第に地震前の状況に復しつつあるように見える。



第1図 熊本～久留米間の上下変動

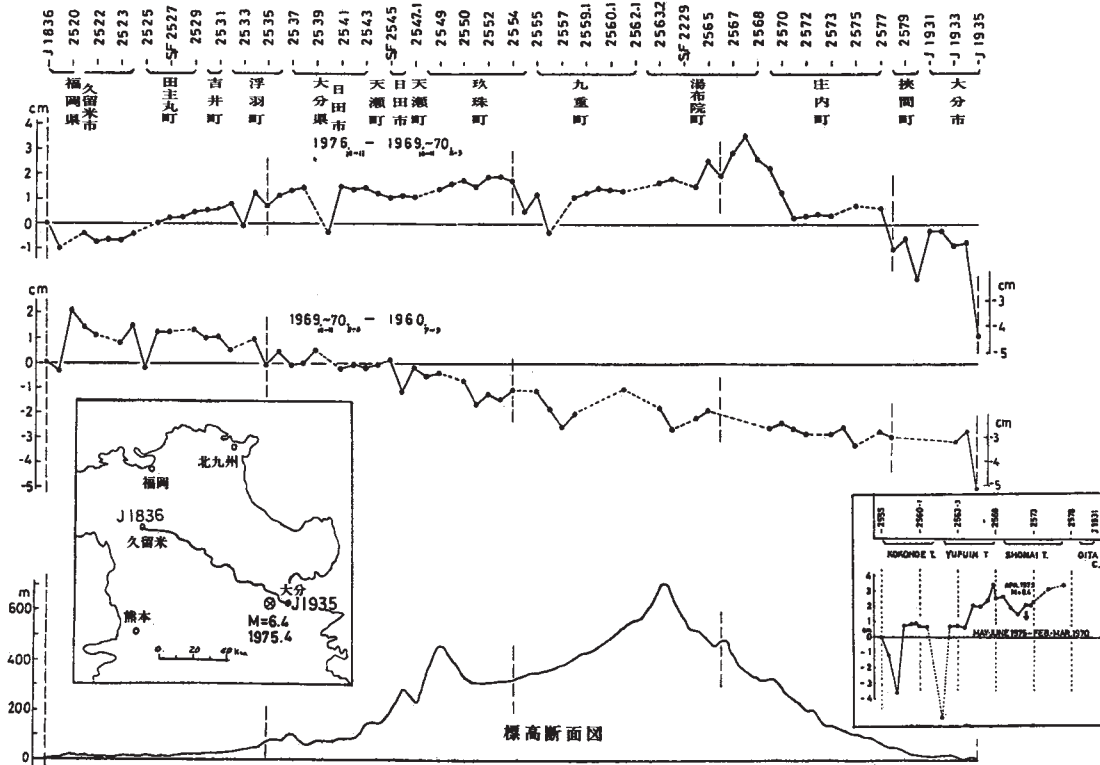
Fig. 1 Vertical movements between Kumamoto and Kurume.



九州中部の水準測量環閉合図

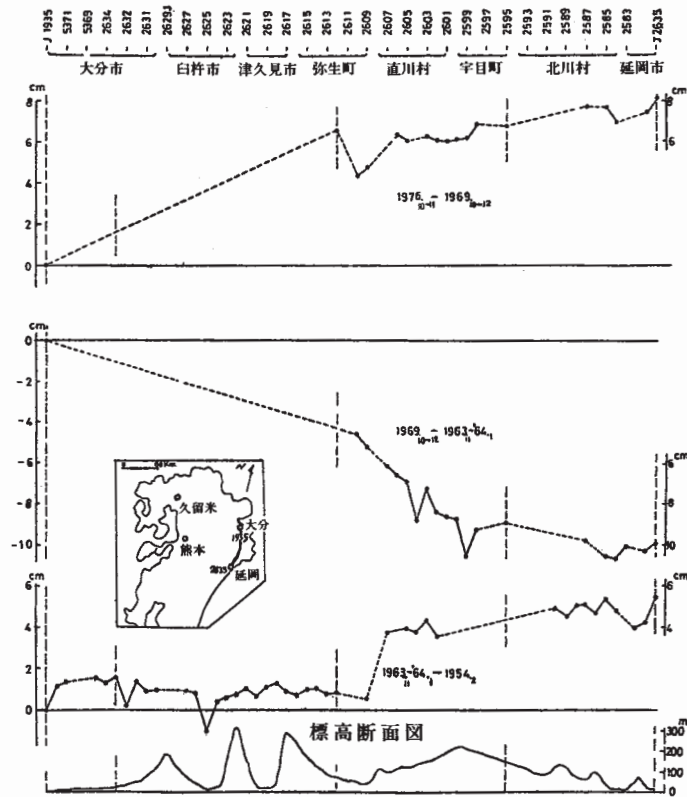
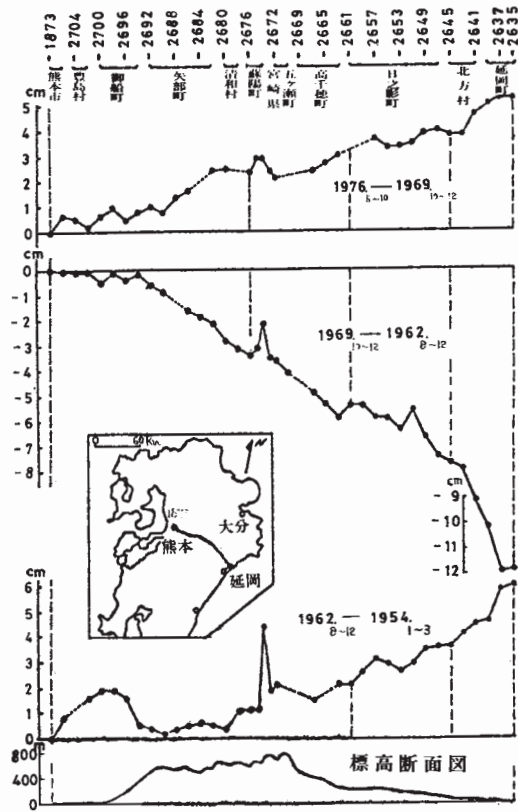
( ) 内の数値は制限値  $2.0\text{mm}\sqrt{S}$

①	1975~'76	-11.3 (±43.9)	mm	mm
	1968~'69	+18.6		
②	1975~'76	+34.1 (±41.7)	mm	mm
	1968~'69	-51.5		



第2図 久留米~大分間の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Kurume and Oita.



第3図 大分～延岡間の上下変動

Fig. 3 Vertical movements between Oita and Nobeoka.